

エコアクション21

# 2023 年度 環境経営レポート

対象期間：2023 年 1 月 1 日～12 月 31 日

株式会社コスモ・サイエンス

〒254-0014 神奈川県平塚市四之宮7丁目3番10号

TEL 0463-51-2031

FAX 0463-51-2034

<http://www.cosmo-science.co.jp/>

E-mail: [info@cosmo-science.co.jp](mailto:info@cosmo-science.co.jp)

発行：2024 年 2 月 15 日

## — 会社概要 —

(1) 名称

株式会社コスモ・サイエンス

(2) 所在地

(本社) 〒254-0014 神奈川県平塚市四之宮7丁目3番10号

(田村工場) 〒254-0013 神奈川県平塚市田村2丁目3番22号

(3) 代表者

代表取締役社長 武藤 泰和

(4) 環境管理責任者

管理部 品質保証・管理グループ グループ長 竹内 祥史

TEL 0463-51-2031

FAX 0463-51-2034

(5) 事業内容

真空及び一般装置設計・製作、真空及び一般装置受託製造、真空及び一般装置修理・改造・移設、各種配管設計・施工、部品加工・販売

(6) 事業規模等

1) 資本金：1,000万円

2) 売上高：10億45百万円(2023年1月～2023年12月)

3) 従業員：70名(対象範囲)2023年12月末現在

(対象範囲は本社と田村工場とする。製造部裾野事業所は顧客の工場に常駐し、同工場はISO-14001認証を取得しその指導下で活動をしている為、EA21登録範囲から除く。)

4) 敷地面積(本社) : 3,710m<sup>2</sup>

(田村工場) : 610m<sup>2</sup>

5) 延床面積(本社) : 2,576m<sup>2</sup>

(田村工場) : 1,220m<sup>2</sup>

6) 事業年度：1月～12月

7) 実施及び運用期間：2023年1月～2023年12月

## — 環境経営方針 —

株式会社 コスモ・サイエンスは、真空装置を主とした  
製品・サービスの提供を通して社会に貢献するとともに  
地球環境保全に配慮し  
全社を挙げて継続的に環境負荷の低減に取り組みます

1. 当社の事業活動に関わる環境影響を把握し、環境負荷の低減に努めます。
2. 環境関連の法規制、条例及びその他の要求事項を遵守します。
3. 環境経営方針を全従業員に周知・徹底します。
4. 環境経営レポートを作成し、公表します。

2023年10月2日制定

株式会社 コスモ・サイエンス

代表取締役 武藤 泰和



## — 環境負荷の状況 —

項目	2010年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
電力	464.11 千 kWh	488.9 千 kWh	502.3 千 kWh	519.5 千 kWh	532.3 千 kWh
CO2 総排出量	データなし	221,363kg	266,021kg	249,826kg	255,178kg
産業廃棄物	データなし	14,422kg	12,070kg	10,990 kg	9,461kg
一般廃棄物	データなし	6,470kg	8,583kg	12,762kg	5,693kg
水道	335 m <sup>3</sup>	638 m <sup>3</sup>	515.8 m <sup>3</sup>	518.9 m <sup>3</sup>	500 m <sup>3</sup>
化学物質					
	ジクロロメタン	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg
	IPA	252 kg	210 kg	42 kg	28kg

— 環境経営目標 —

2023年7月1日

取組項目	基準年	年次目標		
	【2010～11年度】 2010年7月 ～ 2011年6月	【2023年度】 2023年1月 ～ 2023年12月	【2024年度】 2024年1月 ～ 2024年12月	【2025年度】 2025年1月 ～ 2025年12月
(1) 二酸化炭素排出量の削減				
1) 電力使用量の削減	基準年度実績 464.113 kWh	基準年度同月比 13 %削減 売上高比	基準年度同月比 14 %削減 売上高比	基準年度比 15 %削減 売上高比
2) ガソリン使用量の削減	基準年度実績 7,741 ㍓	基準年度同月比 13 %削減 売上高比	基準年度同月比 14 %削減 売上高比	基準年度比 15 %削減 売上高比
3) 軽油使用量の削減	基準年度実績 1,231 ㍓	基準年度同月比 13 %削減 売上高比	基準年度比 14 %削減 売上高比	基準年度比 15 %削減 売上高比
(2) 廃棄物排出量の適切な管理及び抑制・削減 (目標設定)				
1) 段ボール	2014年基準設定 2,640 kg	基準年度比 10 %削減 売上高比	—	—
2) 雑誌・本類など	2014年基準設定 1,800 kg	基準年度比 10 %削減 売上高比	—	—
3) 燃やせるゴミ	2014年基準設定 2400 kg	基準年度比 10 %削減 売上高比	基準年度比 11 %削減 売上高比	基準年度比 12 %削減 売上高比
4) 産業廃棄物	2020年基準値見直 22,118kg	基準年度比 5 %削減 売上高比	基準年度比 6 %削減 売上高比	基準年度比 7 %削減 売上高比
(3) コピー用紙使用量の適切な管理及び抑制・削減				
コピー用紙購入量の削減	2014年基準値見直 240,000 枚 (A4換算)	基準年度同月比 13 %削減 売上高比	基準年度同月比 14 %削減 売上高比	基準年度同月比 15 %削減 売上高比
(4) 水道使用量の適切な管理及び抑制・削減				
水道使用量の抑制・削減	2014年基準値設定 600 m <sup>3</sup>	基準年度比 10 %削減 売上高比	基準年度比 11 %削減 売上高比	基準年度比 12 %削減 売上高比
(5) 有害化学物質の使用量「0」				
(6) 製品・サービス (環境負荷の少ない梱包推進、使用量の削減)				
梱包材使用量の削減	2014年基準値設定 7,200 kg	基準年度比 10 %削減 売上高比	基準年度比 11 %削減 売上高比	基準年度比 12 %削減 売上高比

## — 環境経営計画 —

### (1) 二酸化炭素排出量の削減

#### 1) 購入電力の抑制

- ・ピークデマンドモタリソグ機器（2器）の活用により節電に努める。
- ・空調の適温化（冷房 28℃、暖房 20℃を目処に）に努める。
- ・空調を必要な区域、時間に応じて調整する。
- ・照明の適正化、昼光の利用、スイッチの適正管理を進める。

#### 2) 自動車燃料の使用量の節約及び燃費の改善（エコドライブの推進）

- ・ふんわりアクセル
- ・加減速の少ない運転
- ・早めのアクセルオフ 等

### (2) 廃棄物排出量の適切な管理及び削減

#### 1) 廃棄物分別の徹底と計量の実施

- ・一般廃棄物の適切な管理。
- ・産業廃棄物の適切な管理。

#### 2) コピー用紙購入量の削減

- ・裏紙を積極的に利用する。
- ・両面コピーを活用する。
- ・電子化を推進する。

### (3) 水道使用量の把握

- ・使用量を把握し、異常値などの早期確認と節水の推進をする。

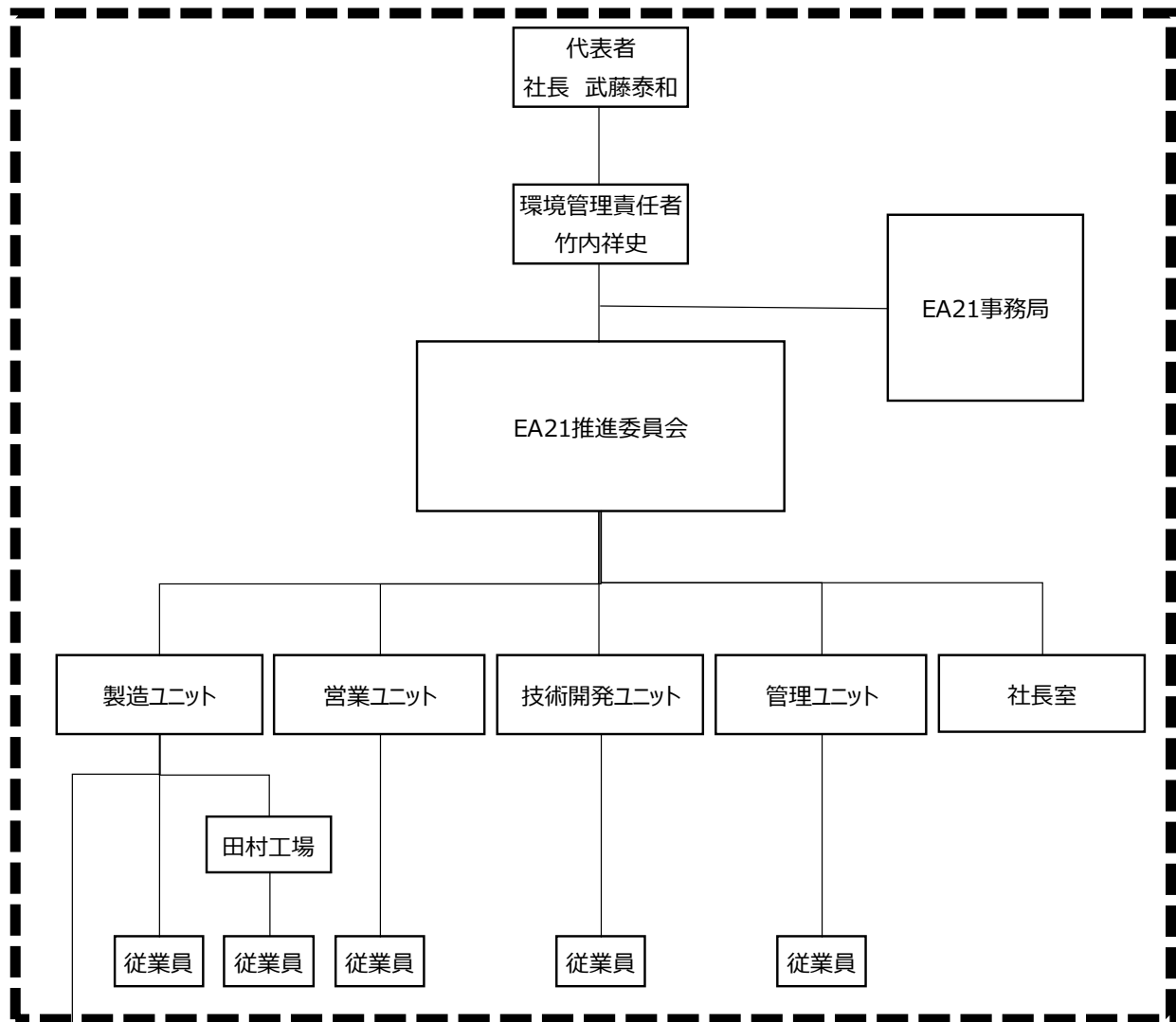
### (4) 化学物質の適切な管理及び使用量の抑制

- ・化学物質の適切な管理を実行する。
- ・有害化学物質使用量の抑制を行う。

### (5) 環境負荷の少ない梱包の実施

- ・発注量をモタリソグして、使用量の抑制を推進する。

—環境経営システム組織図—



裾野事業所

対象組織：破線部門

除外組織：製造部裾野事業所

製造部裾野事業所は、ISO14001の認証取得済みの顧客工場に常駐し、顧客の指揮下で活動をしているため、本活動範囲から除く。

— 環境経営システム 役割・責任・権限表 —

	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技術者を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・課題とチャンスの明確化</li> <li>・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・環境目標・環境活動計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>・環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境目標・環境活動計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境活動レポートの確認</li> </ul>
EA21 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EA21 推進委員会の事務局</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境活動レポートの作成、公開 (社外向けホームページへの掲載と地域事務局への送付)</li> </ul>
EA21 推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境目標、環境活動計画書原案の作成</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営システムの実施</li> <li>・自部門における環境方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

— 2023年1月～12月の環境経営目標と実績とその評価 —

1. 二酸化炭素排出量の削減

1) 目標：電力使用量(kWh)の削減 基準年度比13%削減

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
基準年度値	41319	85458	120557	156179	185839	214591	262375	310351	351497	393122	427096	464113
目標値	35,948	74,348	104885	135876	161680	186694	228266	270005	305802	342016	371574	403778
原単位実績値	22918	50703	66,429	81963	97004	112000	131209	154393	179583	197100	213454	235359
目標値比	-36%	-32%	-37%	-40%	-41%	-40%	-43%	-43%	-42%	-43%	-43%	-42%
結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	(冬季) ・エアコン設定温度20℃ ・照明、適切な on-off			・照明、適切な on-off			(夏季) ・エアコン設定温度 28℃(事務所) 25℃(事務所以外) ・照明、適切な on-off ・遮光遮熱シート取付 (2階事務所) ・ヒートマネジメント管理			(冬季) ・エアコン設定温度20℃ ・照明、適切な on-off ・ヒートマネジメント管理		
評価	積極的な省エネ活動の実施により、通年で単月・累積共に目標達成した。 引き続き、従業員全員による省エネ活動を継続していく。											

2) 目標：ガソリン使用量(リットル)の削減 基準年度比13%削減 (近距離・遠距離の区分廃止)

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
基準年度値	529	1,198	1,973	2,546	3,130	3,696	4,280	4,894	5,632	6,153	6,866	7,742
目標値	307	695	1,144	1,477	1,815	2,144	2,482	2,839	3,267	3,569	3,982	4,490
原単位実績値	163	366	493	609	707	837	927	1,018	1,125	1,310	1,406	1,513
目標値比	-47%	-47%	-57%	-59%	-61%	-61%	-63%	-64%	-66%	-63%	-65%	-66%
結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	出張や仕事場移動時の相乗り利用。											
評価	単月、累積の共に目標値を達成した。 Web会議活用による、外出・出張回数削減の効果があつたと評価する。											

3) 目標：軽油使用量(リットル)の削減 基準年度比13%削減 2018年度より管理項目に追加

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
基準年度値	55	125	271	435	522	650	706	838	838	1,023	1,161	1,231
目標値	96	218	471	758	909	1,132	1,229	1,459	1,459	1,781	2,021	2,142
原単位実績値	121	280	334	456	539	639	737	816	904	988	1,149	1,163
目標値比	27%	29%	-29%	-40%	-41%	-44%	-40%	-44%	-38%	-45%	-43%	-46%
結果	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	出張や仕事場移動時の相乗り利用。											
評価	1月、2月で、単月、累積で目標未達となったが、年間目標は達成した。											



二酸化炭素排出量(kg-CO<sub>2</sub>)の削減 基準年度比 13%削減

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
基準年度値	16,824	35,066	50,369	65,447	78,120	90,519	109,891
目標値	14,637	30,507	43,821	56,939	67,964	78,752	95,605
実績値(原単位)	11,050	24,492	32,033	39,640	46,881	54,218	63,362
目標値比(累計)	-25%	-20%	-27%	-30%	-31%	-31%	-34%
結果	○	○	○	○	○	○	○

項目	8月	9月	10月	11月	12月
基準年度値	129,601	146,703	163,958	178,677	194,735
目標値	112,753	127,632	142,643	155,449	169,419
実績値(原単位)	74,258	86,121	94,684	102,716	112,900
目標値比(累計)	-34%	-33%	-34%	-34%	-34%
結果	○	○	○	○	○
評価	年間を通して、単月、累積ともに目標を達成した。				

電力の二酸化炭素排出係数 : 0.374 kg-CO<sub>2</sub>/kWh (基準年度)  
 0.452 kg-CO<sub>2</sub>/kWh (2023年度)

2. 廃棄物排出量の適切な管理及び削減

1) 目標：一般廃棄物分別の徹底と使用量削減。

基準値：段ボール 2,640kg/雑誌・本類 1,800kg/燃せるゴミ 2,400kg 2022年度目標：10%削減

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	目標	結果
段ボール	414	878	1,207	1,571	1,828	1,828	1,828	1,828	1,828	1,828	1,828	1,828	2,376	○
雑誌・本類等	98	105	121	158	162	162	162	162	162	162	162	162	1,620	○
燃せるごみ	72	171	238	314	355	466	514	545	616	714	748	782	2,184	○
合計	584	1,154	1,567	2,044	2,344	2,455	2,503	2,534	2,605	2,703	2,737	2,772	6,156	○
活動内容	廃棄物分別の順守と排出量削減への意識付け。													
評価	前半は、昨年に引き続いて、大型の顧客支給部品案件が増加しているため、段ボールが目標を大きく超過しているが、業者との協議により、段ボール、雑誌・本類を廃棄から有価物としての売却に変更することで、6月以降廃棄量が0となり、年間目標を達成することができた。													

2) 目標：産業廃棄物分別の月定と使用量削減

基準値：基準年度比 5%削減 (基準年度実績合計 2018年:21,793kg 2020年目標値見直し:1,843kg)

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	評価	
汚泥	目標値	0.67	1.33	2.00	2.66	3.33	3.99	4.66	5.32	5.99	6.65	7.32	7.98	×
	実績値 (原単位)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	15.36	15.36	15.36	15.36	15.36	
廃油	目標値	16.2	32.3	48.5	64.6	80.8	96.9	113.1	129.2	145.4	161.5	177.7	193.8	○
	実績値 (原単位)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.5	41.5	41.5	41.5	41.5	
混合廃棄物	目標値	12.4	24.7	37.1	49.4	61.8	74.1	86.5	98.8	111.2	123.5	135.9	148.2	×
	実績値 (原単位)	0.0	15.0	30.6	30.6	172.8	1,797	1,797	2,091	2,384	2,384	2,397	2,397	
廃プラスチック類	目標値	599	1,197	1,796	2,394	2,993	3,591	4,190	4,788	5,387	5,985	6,584	7,182	○
	実績値 (原単位)	0	902	1,788	1,788	1,788	2,923	2,923	3,803	3,803	3,803	4,778	4,778	
木くず	目標値	1,101	2,202	3,303	4,404	5,505	6,606	7,707	8,808	9,909	11,011	12,112	13,213	○
	実績値 (原単位)	1,598	1,598	1,598	1,598	3,672	3,672	3,672	5,349	5,349	5,349	5,349	5,349	
引火性廃油	目標値	20.0	39.9	59.9	79.8	99.8	119.7	139.7	159.6	179.6	199.5	219.5	239.4	×
	実績値 (原単位)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	279.7	279.7	279.7	279.7	279.7	
引火性廃油(有害)	目標値	2.4	4.8	7.1	9.5	11.9	14.3	16.6	19.0	21.4	23.8	26.1	28.5	○
	実績値 (原単位)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
合計	基準年度値	1,843	3,686	5,530	7,373	9,216	11,059	12,902	14,746	16,589	18,432	20,275	22,118	○
	目標値	1,751	3,502	5,253	7,004	8,755	10,506	12,257	14,008	15,759	17,510	19,261	21,012	
	実績値 (原単位)	1,598	2,516	3,417	3,417	5,634	8,392	8,392	11,579	11,873	11,873	12,860	12,860	
活動内容	廃棄物分別の順守と排出量削減への意識付け。													
評価	産業廃棄物全体では目標を達成したが、備品・在庫品保管量の見直し、レイアウト変更のため、6月で混合廃棄物、工場改築等による廃棄量増加のため、8月に汚泥、混合廃棄物、引火性廃油、9月に混合廃棄物が目標未達となった。													

### 3. コピー用紙使用量の適切な管理

目標：コピー用紙購入量（枚）の削減 基準年度比 13%削減(A4 換算)

基準値の変更：製品カタログ作成、引合い・受注件数の増大によるコピー使用量の増加不可避の為

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
基準年度値	20,000	40,000	60,000	80,000	100,000	120,000	140,000	160,000	180,000	200,000	220,000	240,000
目標値	17,400	34,800	52,200	69,600	87,000	104,400	121,800	139,200	156,600	174,000	191,400	208,800
実績値(原単位)	2,874	6,445	11,604	13,908	17,160	18,991	23,806	26,633	32,335	34,567	38,567	42,123
目標値比(累計)	-83%	-81%	-78%	-80%	-80%	-82%	-80%	-81%	-79%	-80%	-80%	-80%
結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	裏紙の利用、両面コピーの徹底、ネットワーク情報の活用による、紙使用の低減など。											
評価	裏紙、両面コピーの徹底、及び帳票類や提出書類の一部の電子化等の紙使用量削減の取組みを行い目標値は達成した。											

(新基準値の設定：年間 240,000 枚 / 2023 年度は新基準値の 13%削減)

### 4. 水道使用量の適切な管理

取組項目：水道使用量（m<sup>3</sup>）の管理・抑制 基準値：600 m<sup>3</sup>/年、2023 年度 10%削減)

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
基準値	50.0	100.0	150.0	200.0	250.0	300.0	350.0	400.0	450.0	500.0	550.0	600.0
目標値	45.0	90.0	135.0	180.0	225.0	270.0	315.0	360.0	405.0	450.0	495.0	540.0
実績値(単位)	23.9	53.9	70.6	89.7	105.6	120.9	139.9	152.4	168.8	190.0	206.0	223.9
結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	節水シールの貼付、およびペットボトルの挿入によりトイレの排水/1回の減水継続。毎週の水道使用量を計測し、異常事態発生の監視継続中。											
評価	使用状況には異常値は認められない。2023 年度目標は達成した。											

### 5. 化学物質の適切な管理及び使用量の抑制

取組項目：化学物質の適切な管理、および有害化学物質使用停止。

取組項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
IPA(kg)	0	14	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	28
パーツクリーナー(kg)	0	0	0	29	0	29	0	0	0	0	0	0	59
SU-55(kg)	12	0	0	0	12	0	0	12	12	0	12	12	48
活動内容	化学物質の管理適正化および使用量の抑制。代替品による有害化学物質の使用停止。												
評価	化学物質全般の購入量を管理しており、突発的な購入はなく、購入量は適切であると判断する。												

## 6. 製品・サービス

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標 kg	54.0	54.0	54.0	54.0	54.0	54.0	54.0	54.0	54.0	54.0	54.0	54.0
目標累計	54.0	108.0	162.0	216.0	270.0	324.0	378.0	432.0	486.0	540.0	594.0	648.0
実績、原単位評価	31.3	66.8	129.0	161.7	187.4	222.7	235.2	244.0	273.0	284.5	318.8	331.5
原単位実績累計	-42%	-38%	-20%	-25%	-31%	-31%	-38%	-44%	-44%	-47%	-46%	-49%
結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	梱包材の購入量の計測、目標値の設定による使用量の抑制。											
評価	3月にまとめ買いをしたため単月で目標未達となったが、他の月、及び累積では目標を達成した。											

目標：環境負荷の少ない梱包 目標値設定による使用量の抑制（基準値：60kg/月、2023年度10%削減）

— 次年度（2024年度）以降の取組み内容 —

取組項目	次年度の取組み内容
(1) 二酸化炭素排出量の削減	
1) 電力使用量の削減	生産増加見込み → ピークデマンド管理 → 増加抑制。 設備更新時は省エネ設備を検討し導入する。
2) ガソリン使用量の削減	現在の活動を継続する。
(2) 廃棄物排出量の適切な管理及び削減	
1) 一般廃棄物の適切な管理	廃棄物の分別管理を基本とする現在の活動を継続する。
2) 産業廃棄物の適切な管理	
(3) コピー用紙購入量の削減	提出書類の電子化、両面コピーの徹底を継続し、目標達成できるよう活動を継続する。
(4) 水道使用量の適切な管理	現在の活動を継続し、進捗を確認しながら目標を達成する。
(5) 化学物質	化学物質購入量の管理を継続する。
(6) 環境負荷の少ない梱包	引き続き梱包材の使用量の適正化を図っていく。

— 環境関連法規等の遵守状況、違反、訴訟の有無 —

No	主要な法規	項目	確認内容	評価
1	廃棄物処理法	一般廃棄物	契約書の確認	○
		産業廃棄物	契約書の確認	○
			マニフェスト管理	○
		特別管理産業廃棄物	契約書の確認	○
マニフェスト管理	○			
2	フロン排出抑制法	第1種特定製品の廃棄	登録書、引渡書の確認	○
		第1種特定製品の簡易点検	点検記録の確認	○
		電動機定格出力 7.5kW 以上の第1種特定製品の定期点検	点検記録の確認	○
3	消防法	防火管理者、消防計画	提出済	○

環境関連法規等の遵守評価を行い、確認の結果、環境関連法規等に関する違反はありません。関係当局による指摘もありません。環境関連に関して苦情の発生・訴訟もありません。

— 代表者による全体評価と見直し記録 —

<p>評価</p>	<p><b>【環境活動全般について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年は、二酸化炭素排出量、一般廃棄物、コピー用紙購入量、水道使用量、梱包材購入量の目標を達成した。特に、昨年大幅に目標未達となった段ボール、および雑誌・本類を、業者と協議の上、廃棄からリサイクルを目的とした買取りに変更したことは大きな成果であったと評価する。</li> <li>・一方、産業廃棄物は、全体の目標は達成したものの、個別では、汚泥、混合廃棄物、引火性廃油で大幅な目標未達となった。 原因は、昨年4月に当社がフェローテックグループに編入されたことに伴い、工場改築を含むレイアウトの変更、および備品・保管品・在庫品の保管量の大幅見直しを行ったためである。2024年も工場増設・レイアウト変更を計画しており、産業廃棄物の廃棄量増加が見込まれるが、整理・整頓の徹底や他用途への活用の検討を行うことで廃棄量を最小にするよう指示した。</li> <li>・なお、昨年大幅な未達となり、目標値見直しを含む改善検討を指示した段ボールについては、前述の通り、2023年6月以降、雑誌・本類と共に廃棄からリサイクルを目的とした買取りに変更したため、2024年以降は、段ボール、および雑誌・本類を一般廃棄物の管理項目から除外することとした。</li> </ul> <p><b>【前回審査時の指摘事項への取組結果】</b> 前回審査時のA判定推奨事項は、以下の通り対応することを確認した。</p> <p><b>【A判定推奨事項】</b> 省エネルギー、入手性および水銀使用製品廃棄物抑制の観点で、蛍光灯及び水銀灯のLED化の推進について、中長期計画の中で継続的に更新の検討を進めることを推奨する。</p> <p><b>【検討内容】</b> 工場改築・増築等の中長期的なインフラ整備の中でLED化の推進を検討する。 なお、2023年の工場改築で改築対象の水銀灯をLEDに変更済み。2024年の工場増設でも照明をLEDとする予定。</p>
<p>見直し</p>	<p>見直し（変更）が必要と判断した項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 環境経営方針の見直し（変更）が必要と判断しました。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 環境経営目標、環境経営計画の見直し（変更）が必要と判断しました。</li> <li><input type="checkbox"/> 環境経営システム（マニュアル、実施体制、運用手順等）の見直し（変更）が必要と判断しました。</li> <li><input type="checkbox"/> その他、_____の見直し（変更）が必要と判断しました。</li> </ul> <p>見直しの内容（改訂文書名、改定内容 等） 一般廃棄物の項目の内、段ボール、雑誌・本類を管理項目から除外する。</p>